

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和元年度第3回政策会議
開催日	2019年（令和元年）5月9日（木）8：30～9：13
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長，小野副市長，宮治副市長，平岩教育長（欠席） （政策会議委員） 総務部長，企画政策部長，財務部長，防災安全部長，市民自治部長，生涯学習部長，福祉健康部長，保健所長，子ども青少年部長，環境部長，経済部長，計画建築部長，都市整備部長，道路河川部長，下水道部長，市民病院事務局長，消防局長，教育次長，教育部長，議会事務局長，監査事務局長，農業委員会事務局長，選挙管理委員会事務局長
議 事	（1）議題（審議事項） 1 令和元年5月藤沢市議会臨時会提出予定議案について（総務部） （2）報告・情報提供等 ア 「ふじさわ街歩きナビ」の事業終了について（防災安全部） イ 改元に伴うゴールデンウィーク中の市民窓口センター及び市民センターの対応概要について（市民自治部） ウ 「認知症にやさしい市役所」に向けた取組について（福祉健康部）
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 （1）議題（審議事項） 1 令和元年5月藤沢市議会臨時会提出予定議案について （説明者：総務部長） □総務部長から，資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 令和元年5月藤沢市議会臨時会に上程する予定議案について報告するもの。 《主な意見等》 なし。 《結果》 了承。 （2）報告・情報提供等 ア 「ふじさわ街歩きナビ」の事業終了について

<p>内 容</p>	<p style="text-align: right;">(説明者：防災安全部長)</p> <p>□防災安全部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>≪内容≫</p> <p>平成27年度から事業を開始・運用してきたスマートフォンアプリ「ふじさわ街歩きナビ」について、2019年9月30日に事業を終了することから情報提供するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>○本事業のアプリの現状に鑑みると、事業終了は適正な判断だと思う。一方で何点か指摘があったことをしっかり受け止めていただきたい。コンテンツの内容が機能していなかったことは事実である。それらが十分に機能していたら、このアプリは費用より効果が上回っていたかもしれない可能性があったということである。本アプリにコンテンツを掲載していた各課は、そもそもの情報発信の在り方も含めて、このアプリの評価がされたことについて認識・評価をしていただきたい。また、このアプリが終了することと同時に、ユーザーに適切かつ魅力ある情報が伝わるように、改めて、コンテンツを磨いていただき、新たなアプリの活用の視点を含め、情報発信について努力いただきたい。</p> <p>イ 改元に伴うゴールデンウィーク中の市民窓口センター及び市民センターの対応概要について</p> <p style="text-align: right;">(説明者：市民自治部長)</p> <p>□市民自治部長から、資料に基づき報告が行われた。</p> <p>≪内容≫</p> <p>ゴールデンウィーク期間中の市民窓口センター及び市民センターでの届出受付実績、証明交付実績及び地域福祉窓口相談実績等について報告するもの。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>○市民窓口センター関係、地区福祉窓口の対応結果は報告のとおりだが、その他の職場でどのような状況だったのか。ぜひ各部局内で、確認していただき、10連休中の対応について検証・評価をしていただきたい。</p> <p>○午後の総務主幹者会議で、本庁舎1階から3階までの窓口職場においてバックオフィスとして機能した課等から、情報提供を依頼する予定である。</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>ウ 「認知症にやさしい市役所」に向けた取組について (説明者：福祉健康部長)</p> <p>□福祉健康部長から、資料１～２に基づき報告が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>認知症に対する意識を市職員が主体的に持ち、「認知症にやさしい市役所」を目指すに当たり、令和元年度の取組等について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○資料２については、藤沢おれんじプラン・「認知症にやさしいまちづくり」を進めていく内容であり、また資料１については、「認知症にやさしい市役所に向けた取組について」で、認知症にやさしい藤沢に向けて取り組んでいく内容という理解でよいか。</p> <p>⇒資料２の４０ページと４１ページをご覧いただきたい。地域住民をはじめとしたそれぞれの役割を記載しており、「認知症の人が住みやすいまちは、他の方々にとっても暮らしやすいまち」など、職員一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症を含む支援が必要な方々の視点で考えられるような市役所が求められている。このことを本市は、目指していくということである。</p> <p>○プレス発表の予定はあるのか。</p> <p>⇒想定していないが、検討する。</p> <p>○取組の中で、市役所本庁舎自体をオレンジ色にライトアップできないのか。意見である。</p> <p>⇒管財課から本庁舎の利活用のアイデアを各部局に募ったが、その中でプロジェクションマッピングがあった。費用等含め内容の検討を要するものである。また、「ロバ隊長」のステッカーについては、基本的には本庁舎はデジタルサイネージと配架ラックで周知等をお願いしている。</p> <p>○「ロバ隊長」のステッカーについては、クリアファイルなどに入れてカウンターに置いておくなど啓発をお願いしたい。また、公用車などで啓発できないか検討いただきたい。</p> <p>⇒所管課に情報提供する。</p> <p>○「徘徊」などの言葉を使用しないようにとのことだが、消防の現場では使用している。言い換えとして、どのような言葉が相応しいか。</p> <p>⇒「言葉」を使用することで、支援者目線としての印象を与えるものである。認知症の方は、目的があって外出等をしているものである。</p> <p>○具体的にはどのように言い換えるのか。</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>⇒「道に迷っている」とか、「外出し道に迷っている」などである。</p> <p>○「認知症サポーター養成講座」の受講時間はどれくらいか。</p> <p>⇒1講座90分である。</p> <p>○講座内容は、どのようなものか。</p> <p>⇒座学やロールプレイングなどである。ぜひご参加いただきたい。</p> <p>○市民に向けた取組でVRを活用した学習会等について確認したい。</p> <p>⇒本庁舎で1回，地域で4回開催予定である。1回当たり約30台程度の機器を準備しているものである。市民，家族，支援者等関係者向けであり，職員向けの学習会等については，検討していない。</p> <p>○「認知症にやさしい市役所」の「やさしい」の意味を勘違いしないでいただきたい。認知症の方にやさしく接するという意味ではない。認知症の方が普通に生活をしていける，住み続けていける社会ということである。統計的には，全国で認知症の方は，小学生と同じ数である。その意味では，全ての部局がこのことを認識して，施策事業に取り組んでいただきたい。ここで「認知症フレンドリー社会」という本を紹介させていただく。ぜひご一読いただきたい。</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
------------	--